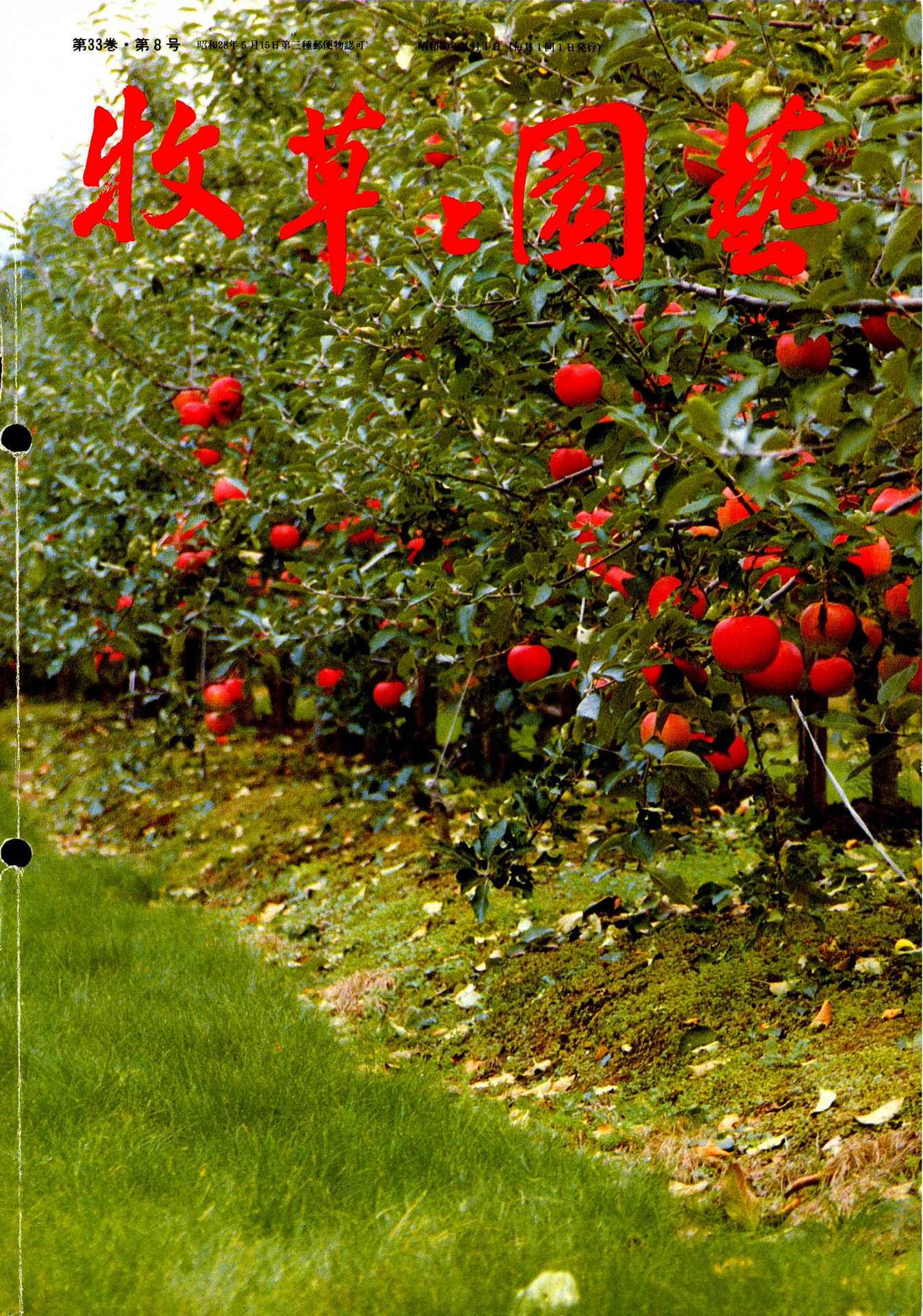


# 牧草園藝





## 〈トピックニュース〉

# 国際草地学会議 日本で開催される

このたび、第15回国際草地学会議が日本で開催されることになりました。

動物蛋白食糧を供給する酪農畜産の安定的な発展と向上に資するための草地研究は、世界各国において、大きな進展をみつつあります。

**国際草地学会議 (International Grassland Congress, 略称 IGC)** は、草地に関するあらゆる研究、先進的実例等の科学技術的情報交換を通じて、世界各国の酪農畜産の発展に大きな役割を果たしてきました。

IGC がアジアで開催されるのは初めてであり、世界50有余の国から約1,200名の方が参加され、一般講演の申込みも約580題に達したとのことです。世界各国から集まる研究者との幅広い交流と討議によって、アジアの、そして日本の酪農畜産の一層の発展について、その方途を探る絶好の機会となりましょう。

なお、草地農業に関心を持たれる方はどなたでも参加できますし、事務局では、多数の研究者・技術者・農業者の参加を期待されています。

### 第15回国際草地学会議の開催要領

と き：昭和60年8月24～31日

と ころ：国立京都国際会館(京都市左京区宝ヶ池)

テマ：草地学—その進歩と人類への貢献

内 容

- 招待講演 次の4課題について、世界の著名な12人の研究者による報告と討議が行われます。
  - ①アジア地域の草地農業と草地研究
  - ②新草種・品種の開発と総合的生産力の向上
  - ③草地の造成・管理・利用の理論的・技術的発展と生態系との調和
  - ④飼料の画期的保存技術と家畜生産の集約的技術の開発・利用
- 一般講演 分野は、次のとおり。
  - ①遺伝資源の導入と評価
  - ②育種と採種

③牧草の生理

④土壌及び植物栄養

⑤草地造成・更新及び牧草地・自然草地の植生管理

⑥牧草の生態と草地生態系

⑦雑草及び病虫害防除

⑧作付体系及び草地機械

⑨牧草の成分分画と貯蔵

⑩飼料価値と家畜生産

⑪放牧利用システムと放牧家畜の行動

⑫草地農業の経済分析

⑬環境保全と草地の多面的利用

⑭トウモロコシ、ソルガムなど暖地型牧草の生産

⑮熱帯、亜熱帯、半乾燥及びツンドラ地域の草地生産

⑯アジア・モンスーン地域の草地生産

○農業者の集い 8月29日13時から開かれ、次の報告が行われます。

- ①北海道別海町における草地酪農
- ②岩手県岩泉町における肉牛繁殖
- ③群馬県長野原町における公共育成牧場
- ④愛知県西尾市における都市近郊酪農
- ⑤兵庫県関宮町における肉牛肥育
- ⑥熊本県泗水町における畑地酪農

○見学旅行 会議後、次の4コースが予定されています。

- ①北海道コース：9月1～5日  
(雪印種苗中央研究農場も見学します)
- ②東北・関東コース：9月1～4日
- ③中国コース：9月1～3日
- ④九州コース：9月1～5日

なお、連絡先は、

栃木県那須郡西那須野町千本松 768  
農林水産省草地試験場内  
第15回国際草地学会議事務局

(電話：02873-6-0111 内線207)